

発第636号
令和3年10月1日

当座勘定取引先 御中

日本銀行

新しい500円貨の支払開始に伴う「日本銀行が行う現金の受払に関する細則（勘定店における現金受払用）」等の一部改正について

新しい500円貨の支払を開始することに伴い、下記1. から3. までの細則をそれぞれ別紙1から別紙3までのとおり一部改正し、令和3年11月1日から実施することとしましたので通知します。

本改正の概要および留意事項等について、別添に整理しておりますので、よろしくご確認およびご対応のほどお願い申し上げます。

なお、改正後の細則につきましては、上記実施日に、本ホームページに掲載します。

記

1. 「日本銀行が行う現金の受払に関する細則
（勘定店における現金受払用）」・・・・・・・・ 別紙1
2. 「日本銀行が行う受直送および直送払に関する細則」・・・・・・・・ 別紙2
3. 「日本銀行が行う市中流通拠点における貨幣の受払に関する細則
（市中流通拠点利用先用）」・・・・・・・・ 別紙3

以上

「日本銀行が行う現金の受払に関する細則（勘定店における現金受払用）」中一部改正

○ 2. (1) ロ. ①を横線のとおり改める。

2. 現金の受入

(1) 受入単位

ロ. 貨幣

① 通常貨

下表に示す定量を取り纏めた大袋または大袋包装封単位とします。

取引先におかれては、極力大袋包装封で持ち込んで頂きますようご協力をお願いいたします。

	貨種	素材・量目	大袋定量	大袋包装封定量 ^(注1)
(イ)	500 円	ニッケル黄銅、白銅及び 銅・7.1g	2,000 枚	25 大袋または 50 大袋
(㏍)		ニッケル黄銅・7.0g	2,000 枚	25 大袋または 50 大袋
(㏎)		白銅・7.2g	2,000 枚	25 大袋または 50 大袋
(㏑)	100 円	白銅・4.8g	4,000 枚	25 大袋または 50 大袋
(㏒)		銀・4.8g	4,000 枚	25 大袋または 50 大袋
(㏓)	50 円	白銅・4.0g	4,000 枚	25 大袋または 50 大袋
(㏔)		ニッケル・5.0g または 5.5g	4,000 枚	25 大袋または 50 大袋
(㏕)	10 円	青銅・4.5g ^(注2)	4,000 枚	25 大袋または 50 大袋
(㏖)	5 円	黄銅・3.75g または 4.0g ^(注2)	4,000 枚	25 大袋または 50 大袋
(㏗)	1 円	アルミニウム・1.0g	5,000 枚	25 大袋、50 大袋または 100 大袋

(注1) }
(注2) } 略（不変）

(注3) (イ)～(㏗)の貨種別、素材・量目別に整理のうえ持ち込んでください。

○ 書式第2号-2を次のとおり改める（全面改正）。

書式第2号-2

受付番号

入金内訳（貨幣・通常貨）

（日付） . . .

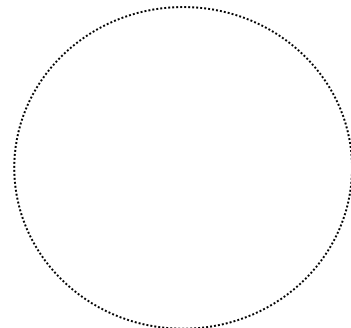
種類		金額						
貨種	素材・量目	正貨			損貨			
500円貨	ニッケル黄銅、白銅及び銅・7.1g			千円			千円	500
	ニッケル黄銅・7.0g							
	白銅・7.2g	/						
100円貨	白銅・4.8g							100
	Ⓜ銀・4.8g	/						
50円貨	白銅・4.0g							50
	Ⓜニッケル・5.0g、5.5g	/						
10円貨								10
5円貨								5
1円貨								1

合計金額		
		千円

（コード番号<7桁>・取引先名）

（顔写真登録番号）授受責任者には○を付す

--



○ 書式第3号を横線のとおり改める。

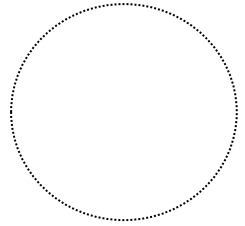
書式第3号

支 払 金 内 訳

番号札

(日付) . . .

金 種		金 額			内 訳						
					印刷局封			日銀封			
銀 行 券	E一万円券			千円			千円			千円	E一万
	E五千円券										E五千
	E 千円券										E 千
	D二千円券										D二千
貨 幣	500 ^{円貨}				(コード番号<7桁>・取引先名) _____ (顔写真登録番号) 授受責任者には○を付す <div style="border: 1px dashed black; width: 100px; height: 20px; margin: 10px auto;"></div>						
	500 ^{円貨} <u>黄銅 7.0g</u>										
	100 ^{円貨}										
	50 ^{円貨}										
	10 ^{円貨}										
	5 ^{円貨}										
	1 ^{円貨}										
合 計											



○ 別紙1中、2.(3)および(4)ニ、を横線のとおり改める。

現金による当座勘定への入金時の当該現金の整理および施封の方法

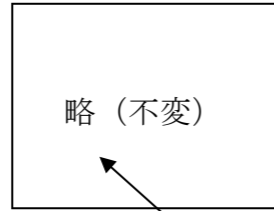
2. 貨幣

(3) 表記の表示

(表記の概観図)

A型

B型



色わけ
 500円 (ニッケル黄銅、青色
 白銅及び銅)
 // (ニッケル黄銅) 茶色
 // (白銅) 桃色
 100円 黄色
 50円 赤色
 10円 緑色
 5円 紫色
 1円、記念貨 白無地

略 (不変)

・ 表記の両端には、以下の各号の別に当該各号に定める色を付してください。

	通常貨・記念貨の別	貨種	素材・量目	両端の色
(イ)	通常貨	500円	ニッケル黄銅、白銅及び銅・7.1g	青色
(ロ)			ニッケル黄銅・7.0g	茶色
(ハ)			白銅・7.2g	桃色
(ニ)		100円	—	黄色
(ホ)		50円	—	赤色
(ヘ)		10円	—	緑色
(ト)	5円	—	紫色	
(チ)	1円	—	白無地	
(チリ)	記念貨	—	—	白無地

略 (不変)

	通常貨・記念貨の別	貨種	素材・量目	表示する事項
(イ)	通常貨	500円	ニッケル黄銅、白銅及び銅・7.1g	ニッケル黄白銅・7.1g
(ロ)			ニッケル黄銅・7.0g	ニッケル黄銅・7.0g
(ハ)			白銅・7.2g	白銅・7.2g
(ニ)	100円	銀・4.8g	⑩	
(ホ)	50円	ニッケル・5.0gまたは5.5g	⑩	
(ヘ)	記念貨			略 (不変)
(ト)				
(チ)				
(チリ)				
(チリ)				
(チリ)				
(チリ)				
(チリ)				

(#)		
(#)		
(#)		
(#)		
(#)		
(#)		

(注) 1. } 略 (不変)
2. }

• } 略 (不変)
• }
• }

(4) 大袋包装封の施封等

ニ. 表記集計票の表示

- } 略 (不変)
- }

(表記集計票の様式例)

略 (不変)

- 表記集計票の貨種表示、表示の色および両端の色は、以下のとおりです。

貨種 (素材・量目)	表示の色	両端の色
500 円 (ニッケル黄白銅・7.1g)	青色	青色
500 円 (ニッケル黄銅・7.0g)	茶色	茶色
}		
1 円	黒色	白色

○ (参考) 中、2. (1) イ. を横線のとおり改める。

(参考) 現金一覧表

2. 貨幣

(1) 通常貨

イ. 現在発行されているもの

額面	素材	直径(mm)	量目(g)	図柄	発行開始年
500 円	<u>ニッケル黄銅、白銅及び銅</u>	26.5	<u>7.1</u>	桐	<u>令和3年</u>
	ニッケル黄銅		7.0		平成12年
100 円	白銅	22.6	4.8	桜	昭和42年
∫	略 (不変)				
1 円	アルミニウム	20.0	1.0	若木	昭和30年

「日本銀行が行う受直送および直送払に関する細則」中一部改正

○ 書式第3号を横線のとおり改める。

書式第3号

(日 付)

日本銀行〇〇支店 御中

(取引先)

直送希望通知

年 月分の受直送または直送払の実施希望は以下のとおりです。

▽受直送

(単位：大袋包装封)

貨種	上旬	中旬	下旬	合計
500円貨				
うちニッケル黄銅、白銅及び銅 7.1g				
うちニッケル黄銅 7.0g				
100円貨				
50円貨				
10円貨				
5円貨				
1円貨				
合計				

▽直送払

(単位：大袋包装封)

貨種	上旬	中旬	下旬	合計
500円貨				
うちニッケル黄銅、白銅及び銅 7.1g				
うちニッケル黄銅 7.0g				
100円貨				
50円貨				
10円貨				
5円貨				
1円貨				
合計				

(注1)

(注2)

略(不変)

以 上

○ 書式第4号を次のとおり改める（全面改正）。

書式第4号

受付番号

入金内訳（貨幣・通常貨）

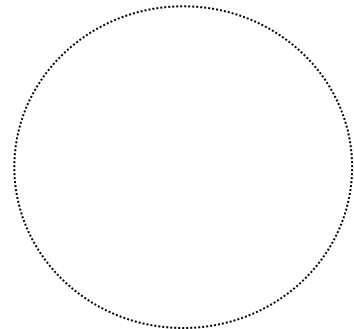
（日付） . .

種類		金額						
貨種	素材・量目	正貨			損貨			
500円貨	ニッケル黄銅、白銅及び銅・7.1g			千円			千円	500
	ニッケル黄銅・7.0g							
	白銅・7.2g	/						
100円貨	白銅・4.8g							100
	Ⓜ銀・4.8g	/						
50円貨	白銅・4.0g							50
	Ⓜニッケル・5.0g、5.5g	/						
10円貨								10
5円貨								5
1円貨								1

合計金額		
		千円

（コード番号<7桁>・取引先名）

（顔写真登録番号）授受責任者には○を付す



○ 書式第5号を横線のとおり改める。

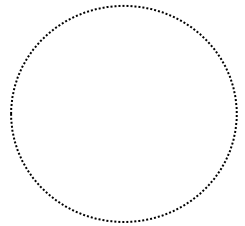
書式第5号

支払金内訳

番号札

(日付) . . .

金種		金額			内訳						
					印刷局封			日銀封			
銀行券	E一万円券			千円			千円			千円	E一万
	E五千円券										E五千
	E千円券										E千
	D二千円券										D二千
貨幣	500円貨				(コード番号<7桁>・取引先名) _____ (顔写真登録番号) 授受責任者には○を付す <div style="border: 1px dashed black; width: 100px; height: 20px; margin: 10px auto;"></div>						
	500円貨 黄銅 7.0g										
	100円貨										
	50円貨										
	10円貨										
	5円貨										
	1円貨										
合計											



「日本銀行が行う市中流通拠点における貨幣の受払に関する細則（市中流通拠点利用先用）」中一部改正

○ 1. (2) を横線のとおり改める。

1. 基本的な事項

(2) 受払対象貨幣および受払の単位

市中流通拠点において受払の対象となる貨種は下表のとおりです。また、受払の単位は貨種別に大袋定量を取り纏めた大袋包装封定量とします。

貨種 ^{*1}	大袋包装封定量	大袋定量
500円（ <u>ニッケル黄銅、白銅及び銅貨</u> ） ^{*2}	50大袋	2,000枚
100円（白銅貨）	50大袋	4,000枚
50円（白銅貨）		
10円		
5円		
1円	100大袋	5,000枚

*1 略（不変）

*2 500円（ニッケル黄銅貨）については、市中流通拠点において日本銀行による支払および受入は行いません。

○ 書式第3号を次のとおり改める（全面改正）。

書式第3号

市中流通拠点での貨幣受入・払出予定表（月次・速報）＜ 月分＞

（日付） _____

（利用先名） _____

（部署・連絡責任者名）^{注1} _____

（連絡先＜電話・FAX＞） _____

▽ 受入・払出希望量^{注2}

（単位：袋）

貨種	上旬		中旬		下旬	
	受入	払出	受入	払出	受入	払出
500円 （ニッケル黄銅、 白銅及び銅貨）						
100円						
50円						
10円						
5円						
1円						
合計						

連絡先：日本銀行発券局日本橋発券課運営保管グループ（勘定店が本店の場合）
（TEL 03-3277-3087、FAX 03-3277-1465）

日本銀行大阪支店発券課総務グループ（勘定店が大阪支店の場合）
（TEL 06-6206-7790、FAX 06-6233-6019）

注1 連絡責任者名欄には、連絡責任者または連絡責任者代理者の氏名を記載してください。

注2 大袋包装封定量の単位で記載してください。

○ 書式第4号を次のとおり改める（全面改正）。

書式第4号

市中流通拠点での貨幣受入・払出希望表（週次）

（ / 日<月> ~ / 日<金>）

（日付） _____

（利用先名） _____

（部署・連絡責任者名）^{注1} _____

（連絡先<電話・FAX>） _____

【受入】^{注2}

（単位：袋）

貨種	袋数
500円 （ニッケル黄銅、 白銅及び銅貨）	
100円	
50円	
10円	
5円	
1円	
合計	

【払出】^{注2}

（単位：袋）

貨種	袋数
500円 （ニッケル黄銅、 白銅及び銅貨）	
100円	
50円	
10円	
5円	
1円	
合計	

連絡先：日本銀行発券局日本橋発券課運営保管グループ（勘定店が本店の場合）
（TEL 03-3277-3087、FAX 03-3277-1465）

日本銀行大阪支店発券課総務グループ（勘定店が大阪支店の場合）
（TEL 06-6206-7790、FAX 06-6233-6019）

注1 連絡責任者名欄には、連絡責任者または連絡責任者代理者の氏名を記載してください。

注2 大袋包装封定量の単位で記載してください。

○ 書式第5号を次のとおり改める（全面改正）。

書式第5号

市中流通拠点
受払用

市中流通拠点での貨幣受入・払出・融通連絡表（ / 日<月> ~ / 日<金>）

（利用先名） _____

日本銀行 _____ 注1

【市中流通拠点での受入】 (単位：袋)

貨種	合計	日 (月)	日 (火)	日 (水)	日 (木)	日 (金)
500円 (ニッケル黄銅、 白銅及び銅貨)						
100円						
50円						
10円						
5円						
1円						
合計						

【他の利用先への引渡（融通）】 注3 (単位：袋)

利用先名 貨種			
500円 (ニッケル黄銅、 白銅及び銅貨)			
100円			
50円			
10円			
5円			
1円			
合計			

【市中流通拠点での払出】 注2 (単位：袋)

貨種	合計	日 (月)	日 (火)	日 (水)	日 (木)	日 (金)
500円 (ニッケル黄銅、 白銅及び銅貨)						
100円						
50円						
10円						
5円						
1円						
合計						

【他の利用先からの受取（融通）】 注3 (単位：袋)

利用先名 貨種			
500円 (ニッケル黄銅、 白銅及び銅貨)			
100円			
50円			
10円			
5円			
1円			
合計			

注1 勘定店が本店の場合は「発券局」、大阪支店の場合は「大阪支店」と記載されます。

注2 市中流通拠点での払出日の前営業日の午後4時30分までに「当座勘定払戻確認情報記入票」をファクシミリにより勘定店に提出してください。

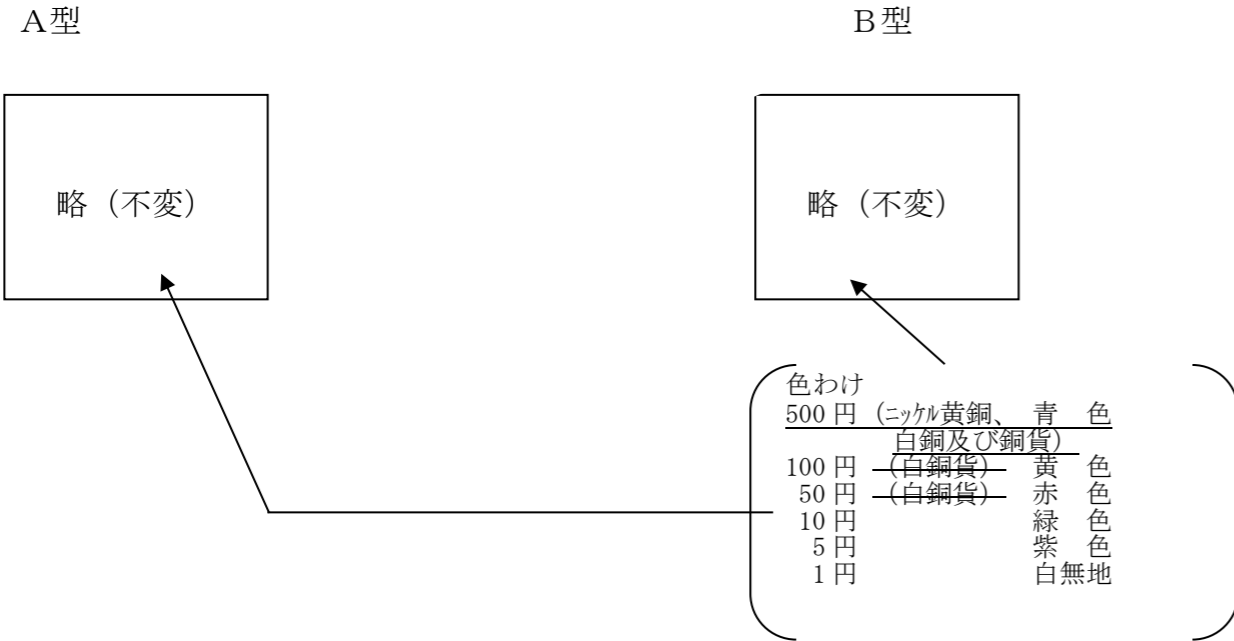
注3 融通実施日等は、融通の相手方となる先と調整してください。

○ 別紙中、3. および4. ニ. を横線のとおり改める。

貨幣の整理および施封の方法

3. 表記の表示

(表記の概観図)



略(不変)

表記の両端には、以下の各号の別に当該各号に定める色を付してください。

	貨種	両端の色
(イ)	500円 (ニッケル黄銅、 白銅及び銅貨)	青色
(ロ)	100円 (白銅貨)	黄色
(ハ)	50円 (白銅貨)	赤色
(ニ)	10円	緑色
(ホ)	5円	紫色
(ヘ)	1円	白無地

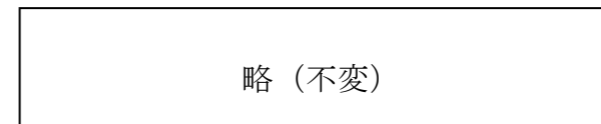
略(不変)

4. 大袋包装封の施封等

ニ. 表記集計票の表示

略(不変)

(表記集計票の様式例)



表記集計票の貨種表示、表示の色および両端の色は、以下のとおりです。

貨種	表示の色	両端の色
500円 (ニッケル黄白銅・7.1g)	青色	青色
100円 (白銅貨)	黄色	黄色
50円 (白銅貨)	赤色	赤色
10円	緑色	緑色
5円	紫色	紫色
1円	黒色	白色

新しい500円貨の支払開始に伴う留意事項等および各種細則の改正概要

<留意事項等>

- ・ 「支払金内訳」について、支払開始日（本改正の実施日）分のFAX等による事前通知は、改正後の書式を使用して下さい（「入金内訳」も同様）。
- ・ 本改正の実施日より前に整理した500円通常貨（ニッケル黄銅貨（7.0g）および白銅貨（7.2g））については、実施日以降も、大袋表記への素材・量目の表示を行うことなく、そのままの状態に入金できます。
- ・ 「直送希望通知」および市中流通拠点における書式（「市中流通拠点での貨幣受入・払出予定表（月次・速報）」、「同希望表（週次）」および「市中流通拠点での貨幣受入・払出・融通連絡表」）について、支払開始日以降分の連絡のために使用する場合には、改正後の書式を使用して下さい。

<改正概要>

1. 「日本銀行が行う現金の受払に関する細則（勘定店における現金受払用）」（別紙1）
 - ・ 新500円貨の整理方法等を規定。
 - 新貨と現行貨は混合不可。
 - 新貨と素材・量目が同じ記念貨との混合も不可。
 - ・ 500円通常貨（ニッケル黄銅貨（7.0g））および白銅貨（7.2g）について、表記等への素材・量目表示の追加。
 - ・ 「支払金内訳」、「入金内訳」の書式の改正。
2. 「日本銀行が行う受直送および直送払に関する細則」（別紙2）
 - ・ 「直送希望通知」の書式の改正（新貨と現行貨を区分）。
 - ・ 「支払金内訳」、「入金内訳」の書式の改正。
3. 「日本銀行が行う市中流通拠点における貨幣の受払に関する細則（市中流通拠点利用先用）」（別紙3）
 - ・ 受払対象貨として新500円貨を追加。
 - ・ 500円貨（ニッケル黄銅貨（7.0g））は、実施日以降、受払とも行わない。

以 上